

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		トレーニングに応じて、お子様が集集中しやすい環境設定を心掛けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		質の高い療育の提供を目指し、指導員2:生徒10の配置基準を上回る、3:10の体制を基準に配置しトレーニングを実施できるよう努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	トイレ、教室内の段差、手すり、廊下の広さ等の設備面でのバリアフリー化はなされておらず、今後見直しを図っていく予定です。一方、時間や空間が分かりやすい構造化された環境づくり、座席位置への配慮等、お子さまの特性を踏まえ、一人ひとりに合わせた支援につなげていけるよう努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員が積極的に運営改善に関わっている他、保護者アンケートの実施により客観的な評価視点を加え、PDCAサイクルにより、業務改善・品質向上に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様の意向や満足度の把握に努めるため保護者アンケートを実施し、いただいたご意見への返答と改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		結果は、ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っておりませんが、今後積極的に取り組んでい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		本部研修、社内研修、区、都の主催する勉強会、有償の外部研修等多岐にわたる研修、勉強会を年間を通して計画し、支援の質の向上のための取り組みを行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子ども本人の発達の状況や家族・地域社会の状況、子どもや保護者様の意向を適切に把握することで、個別に合わせた計画の作成に努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントツールを使用できておりませんが、現在導入に向けて、準備を進めており、今後積極的に使用していく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別支援計画に基づくチームアプローチを実践し、子どもたちへのより質の高い効果的な支援の実施につながるよう、トレーニングを行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもたちの課題に合わせた様々なプログラムを組み立てる工夫をしている他、活動の中での経験が限られてしまうことがないよう、プログラムの提供を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別支援計画に基づく支援経過状況や課題を考慮し、個別の担当や集団メインの指導員がプログラムを考案し、それをもとにプログラムの検討を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子どもの発達の状態及び 発達の過程・特性等並びに保護者様の意向を踏まえ、個別活動と集団活動での取り組みを適宜組み合わせ個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼時等に職員間で打ち合わせを行い、来所予定児童・支援内容・注意事項・指導員間での役割分担の話し合いを行い、確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		チームで支援効果を高めることができるよう、支援に関わる全職員にてトレーニングの内容や子どもの様子を共有できるよう努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援に関わる職員にて振り返りを実施し、多角的に気づきを共有し、職員一人一人が共通理解と共通認識を持って次回からの支援に臨めるよう努めています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援に対する記録を基本に、前回利用時との比較や、その日の状況を毎回詳細に記録しています。また、記録は個別支援計画の検証にも使用し、期間ごとの評価にも活かしている他、振り返りとしてまとめて保護者様にお渡ししています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		利用生徒の発達に応じて、課題設定の内容を適宜変更しています。お子様の様子や保護者様のアセスメント、又相談支援事業所等とも話を共有しながら、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、もしくは担当職員を中心に、サービス担当者会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者様から依頼があった際には、相談支援事業所に連絡を取ったうえで、学校に訪問・電話連絡を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	対象児がいないため現状では連携を図ってはいませんが、必要があればいつでも医療機関との連絡体制を整える準備はしております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○	園や相談支援事業所とは情報共有を行っているため、そこから情報を頂くことが多いが、就学後ある程度の年数が経過した後でご利用されるお子様に対してはそれが難しい状況です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	対象児がいないため現状では連携を図ってはいませんが、必要があればいつでも関係事業所等との情報共有ができるよう連絡体制を整えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		会議等への出席、書面での情報提供の協力をしています。それにより相互理解を図り、円滑に支援が引き継がれるよう努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今のところ交流や活動機会を設けることができていませんが、必要があれば行っていきたいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	必要がある場合に召集された際には参加していますが、まだ地域的に会議へ参加することの認知が進んでいないので、もっと認知してもらえるように努めて参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		フィードバック時に家でも出来るトレーニングやアプローチに関して等をお伝えしています。フィードバックなどを通じて、必要に応じて、良い行動を増やすという視点などをお伝えするようにしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約をいただいた際に、お子様や保護者様が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をさせていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		生徒の担当職員を決め、同じ職員が継続してお子様を見ていくことで、相談を受けた際に必要に応じた助言ができる体制を整えています。また、保護者様が悩み等を自分だけで抱え込まないよう適宜相談に応じ、信頼関係の構築に努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等に関して「必要ない」のご意見が複数あるため、保護者会等の開催はありませんが、今後は講演会(勉強会)の開催等、保護者交流の場を検討し企画していく予定です。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	今まで苦情等いただいたことはありませんが、今後いただいた際には事業所内フローに従って迅速に対応させていただきます。どの職員に相談があっても良いように、日ごろから情報共有を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	今後は定期的な周期で無料発達相談会や避難訓練開催等のご案内やご報告をホームページにて発信できるよう努めていきます。	
	35	個人情報に十分注意しているか		○	個人情報は第三者の目に入らないように十分注意して取り扱っており、基本的に書類は鍵付きの書庫にしまうなどの対応しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	使用する言葉や表現に配慮し、一度に伝える情報量を調整しています。お子様や保護者にとって、専門用語ではなく、最も理解しやすい言葉でお伝えする等の配慮をしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在事業所としてのイベントは行っておりません。今後イベントや勉強会などを行う際には、地域の方にもお知らせをし、参加していただけるよう努めていきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	○	保護者様に緊急時のマニュアル等がある旨は伝えていますが、どのようなときにどう対応するかなどまでは周知していないのが現状です。職員はマニュアルがある旨は知っているため、質問があった際や有事の際にすぐに対応できるように、内容の把握等を徹底していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年に2回、避難訓練を実施しています。また、各種マニュアルの策定並びに研修・訓練を随時実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		各種マニュアルの策定並びに研修を随時実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		必要に応じて実施しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事提供はしていないため指示書はいただいていません。アレルギーの有無については全員確認しています。また、アレルギーに配慮し、教室内は食事を禁止とさせていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		年度ごとにまとめ・分析し、事例集として活用すると共に、ヒヤリハット報告書作成時には、即座に職員及び全社に共有を図っています。